

ミキ先生の御教え

三
好
康
之

【教授会】 教授会開始約三十分間、ミキ先生の教育論を承るのが私の楽しみでありました。常に、教育人特に人間教育を全面に強調されていました。

『私は決して研究を軽視しているのではない、先生方は大学に籍を置く以上研究を重視して欲しい。広島文教女子大学一丸となつて、目標に向かう研究を成し遂げて欲しい。自分自身の研究同様、信頼され、敬愛される学生に育てようとする熱意と愛情を持って、教育に臨んで欲しい。学生の持つ小さな向上の芽生えを、確実に大きく育てることに生かしてこそ、初めて研究の意義があるのです。』

【学長講話及び談話会】 ミキ先生と学生の触れ合いは、入学早々の学長講話から始まります。学生は、各クラス単位で学長の話を聴き、その感激を胸に大学生活に入ります。この講話中、学長は新入生を鋭く観察され、その時の態度、あるいは感想文等で気にかかった学生との談話会を持たれることを希望されることもしばしばでした。私が司会者として同席した、学長談話会の記録を紹介します。出席者は短大二下次生クラス代表六名です。

司会……入学して一年余、あなたの大学生生活を聴かせてください。

学生A（鳥根県出身）……学長先生との談話会を持てる大学に学んで感謝しています。淳風寮生活は規律が厳しく、特に門限は早すぎます。

学生B（広島市出身）……高校では先生の言われるままに行動してきましたが、細かく指導されない大学生活では、気が緩んでしまったことを反省しています。

学生C（愛媛県出身）……入学早々から親元を離れ、下宿先で先輩友人と同じ屋根の下で便所、風呂、台所が共

二、教育一途の人

同なので親切にされ、とても嬉しかったです。

学生D（長崎県出身）……寮では自分の時間が持てず、二年から下宿しましたが、時間やお金にルーズとなりました。制服制度はともありません。

学生E（広島県出身）……第一志望校に落ちてやむなく入学しましたが、この大学には同じ立場の人が多く、諦めがつき、今はよく頑張っていると思います。

学生F（広島市出身）……大学入試では、美術関係にも合格し進路に大変迷いましたが、将来は公務員又は教員になろうと決心して、本学科を選びました。

学長……本学は、初志の貫徹、親に感謝、規則の遵守、責任の遂行という四大指導目標があります。大学は自主的に勉学するところで、これが高校との違いです。本学では、入学試験の試験に耐えてきた、勉学意欲の旺盛な学生の入学を歓迎しています……。

司会……学長講話や学内巡回指導によって、気をつけるようになった点は、どんなところですか。

F……お話しはよくわかる気がありますが、実践となると大変難しく、どうすればいいか迷っています。

E……お話しはもつともだと思ふことばかりですが、特に親に感謝ということでは、お言葉がずしんと深く体の中に響いてきます。

D……親に甘えてばかりですが、感謝しながら自立心を養っていききたいです。学園訓の「謙虚で優雅な人」の意味がわかりません。

C……親元を離れ下宿して、親の気持ちが変わり、親の苦勞が身にしみました。

B ……親に甘えすぎていたことを痛切に感じます。親には感謝し続けます。学園訓に近づけるよう努力したいと思えます。学級委員までやらせていただいて大変感謝しています。

A ……親に対しては、今まで以上に感謝したい気持ちが心の底から湧いてきました。残された学生生活を一生懸命頑張ります。

学長 ……親に感謝することを忘れてはいけません……。 (学生 A、C、D が涙を流す)。謙虚で優雅な人とは、「心が素直で、優しく、慎みのある、礼儀正しい人」になるのを目標にしなさいということです。学生は学生として、授業に打ち込みなさい。

【学長懇談会 (いわゆる御前会議)】 学期始め、夏休み、学年末に学長は、学科毎に教員を召集し、教育方針の徹底、教育目標に対する学科の取り組み、チューターのクラス学生の動向報告等を内容とする会議を持たれていました。

学長 ……学長講話で話している内容をまとめてプリントし、先生と学生に配布しましたが読まれましたか。本学の教育方針は、初志の貫徹、親への報恩、責任を果たす、規則を守るです。▲心を育て、人を育てる▽ ……教育には根気がいります ……。

次に、学科長、チューター、教員と順番に教育目標やら、反省点やらを述べます。極めつけは、学長自ら新聞広告の裏紙に短い鉛筆できちんとメモを執っておられるのに、『今述べられたことを、まとめて各自提出してください。』 ……一度おかしなことを言えば、何年でも繰り返し言われ続けられました。

二、教育一途の人

【学長の課外授業】 数年前まで、学長は朝早くから深夜までお仕事をされていました。衣も食も質素で、聞くところによると無給だったそうです。

十五年ほど前、学長宿舍の電話がけたたましく鳴りました。午前零時を過ぎていました。

「新天地の交番です。学生が二人酔っぱらって手におえません。迎えに来てください。」

車で駆けつけられた学長をみて、クラブの登山後空きっ腹に飲んだ甘いカクテルで酔っぱらった学生は「オー学長お迎え御苦労さん」と始末におえません……。

早朝、学長に叩き起こされた学生は、正座してみっちり絞られ、反省文の山でした。早速教員に、お酒の飲み方を指導するように指示されたことはいまでもありません。

学長先生の前では、学生も教員も素直になれ、仏の前のカエルでした。

謹んで、生涯の恩師故ミキ先生の御冥福をお祈り致します。

合掌